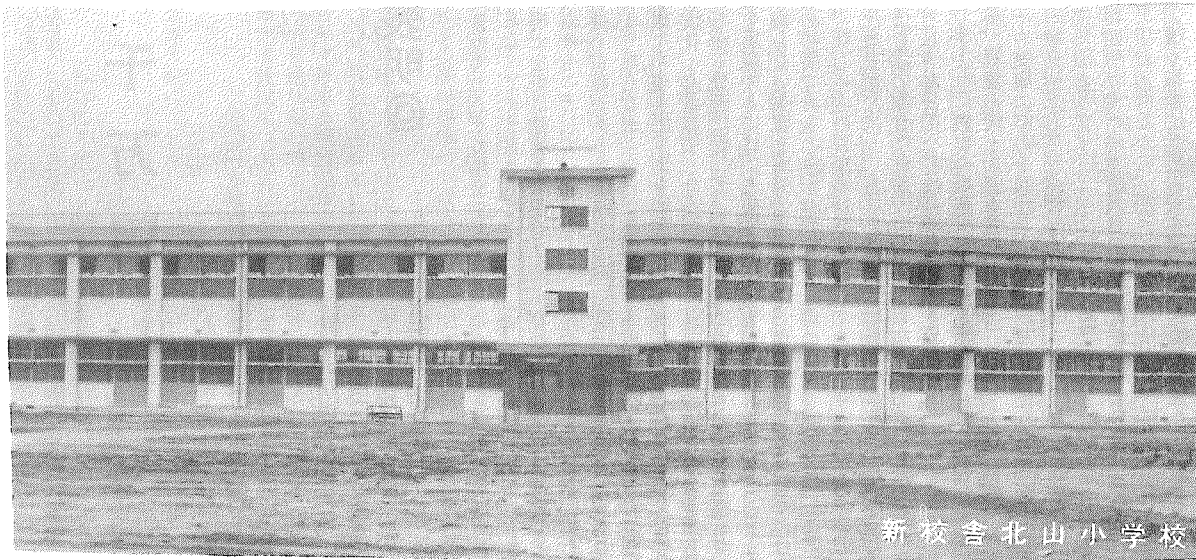


発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
 発行人 池田盛幸 編集人 大村一男

(印刷所)
 キング堂印刷所

町の人口動態	
(3月1日現在)	
世帯数	6,714戸
人口	男 10,893人
	女 12,486人
	計 23,379人
3月の	出生 16人
	死亡 25人
	転入転出 171人



新校舎北山小学校

(しておくと便利です)

木津志地区に

スクールバス運行

北山小学校は四十三年四月一日設置され現在まで各教場で授業を行なってきたが、四月一日から実質統合により三教場が一つになり新校舎で授業が開始されます。統合により通学距離が遠くなるためバス或はスクールバスによる通学という事で、この経費の負担軽減を図るため町は各機関と度々の協議を重ね定期バスで通学する児童、スクールバスで通学する児童の交通費の面倒を見ることになりました。通学距離は四キロメートル以上を基準として計算されています。本町のスクールバ



60人乗りスクールバス

スは飛野から山田本校に一台運行していますので二台目の車になります。型は写真のとおり定期バスよりやや小さいものです。可愛がっていただきたいと思えます。スクールバスの運行時刻は午前、午後の二回として始業時刻一時間前に北山小に向います。午後は四時一四時三〇分に学校を出発して、朝と反対のコースで帰ります。当分の間スクールバスは、本庁を朝六時三〇分に出発し、帰りは児童を送り届けて本庁に帰ってまいります。昼間は北山出張所の所に駐車し、運転者は北山出張所で勤務待期することになっています。最初の事で何かとご迷惑をおかけすることもあると思えますがどうぞよろしくお願ひします。

スクールバスの運行の安全を期するため道路はもちろんです、車のこと、児童のこと、運転者に対する最悪の事態に対する各種保険等も四月から契約することになっています。家庭におかれましては、乗り物による通学になりますので時間の事など今までと異なった時間にははられる生活になつてきゆうくつしようが子供のためよろしく朝夕の生活指導もお願いします。

運転者は、徳丸 藤男
 運転補助者は、松崎 玉子です

教育委員会

昭和44年度予算

四億一千万円

教育文化
産業経済
社会福祉
を重点に

◎町長所信を表明◎

施政方針

昭和四四年度才一回定例町議会の開会に当り、本年度施政についての所信を表明いたしますとともに、昭和四四年度予算の概要を申し上げ、皆様のご理解と協力をお願い申し上げる次第であります。本年は、明治改元以来既に一世期を過ぎ、二世期の初年度に当りあらゆる意味におきまして歴史の転換期の年であると思っております。本町も合併以来一四年目を迎え県内でも先進的な規模の大町に成長し内容外観共に充実して参りつつあります。誠に喜ばしいことであり、これ一重に町民各位が町の発展と繁栄を期することの重要さを認識され、常に理解あるご協力を賜ったことと、町議会各位が大局の立場に立つての深いご理解とご協力を戴いた賜であると思ひ、衷心より慶びを感じるとともに深甚の敬意を表する次第であります。又見逃すことのできないの

挽回して参りましたが、国の総合予算主義の建前から必ずしも好転したとは思われません。国の考えは、地方財政は好転したので地方交付税率を引下げたい意向のようでありましたが、各地方からの突き上げにより従来の線に落ちついたのであります。国が考えているように地方財政は好転しているのではなく、好転していないのが現状であります。

現段階では国の財政規模はもとより国債発行の規模やその額も確定してない実情から、地方財政にまでその波及を受け、町村財政は必ずしも明るいとは思われません。地方財政の趨勢は、歳入の伸びやみやみと年毎に増高する義務的経費等による財政需要面の増大によって益々逼迫しつつあります。本町の財政力にも自ら限度があり従来山林資源に依存した感がありましたが、現在におきましては、この資源も枯渇した感を深くするものであります。このような厳しい情勢に対処して行くには自主財源の確保を図って行くことは勿論であり、事務の合理化と行政効率の向上を図るよう機構や人事管理の面にも検討を加えて行きたい所存であります。

一、教育の振興

先ず教育の振興について申し上げます。教育の重要性は今更申しあげますまでもなく、国の隆昌は一朝一夕で教育にあると言われれております。将来の国と郷土発展の原動力であり、礎である立派な青少年を育成することは、私達に課

せられた重大なる責務であり、日進月歩の近代社会の要請に應える国民の育成には、先ず学校教育の発展向上を図る必要がありますので、教育施設、設備の充実を図り児童生徒の学力向上と体位の向上を期する覚悟であります。学力向上し、教育の効果を挙げるためには優秀なる教職員の配置は勿論のことであり、学校と学級の適正規模を図ることが大事なことと考へ、昨年度成美、堂山、木津志小学校を統合し、本年四月一日より三校を一緒に授業を開始すべく校舎の建築を終る訳であり、附属建物等が不足いたしましたので、本年度に巨り完了する計画であります。

次に一昨年一部建築いたしました重富小学校も残校舎の老朽化が甚しく危険校舎保全のための維持修繕に経費がかかり、又教育の面から見ても早く正常な姿にもどすことが必要でありますので、本年度から来年度に巨り二ヶ年工事で改築する計画であります。又貧しい家庭の成績優秀な高校生に育英資金を貸付け、その経済的負担を軽くし、青雲の志を伸ばしてやりたいと考へます。

社会教育におきましては、町づくりのため総合社会教育を推進し特に具体的には町民憲章を強く押し進めて行き、生活の現場で憲章が具体化されるよう努力いたしたいと考へております。又、部落公民館運動を部落民の自主性と自力で推進して行くよう努力するとともに、民主団体の活動を推進するため各種の学級を開設し、学習と

生活の一本化を図り、部落統合の推進を図って行きたいと考へております。又、昨年明治百年事業として創刊しました始良町郷土史をもとに、町民に本町の歴史を良く認識していただき、郷土に対する愛着と誇りを高め、町発展の一助にいたしたいと考へております。又昨年より始めました無人図書館及び巡回図書を効率的に活用してもらい、町民の読書欲を高め、以て教養文化の向上を図りたいと考へております。

次に国体が昭和四七年度本県で開催されるにあたり、本町の重富中学校がラグビー場に決定をみましたことは皆様とともに慶びに堪えません。協会の説明により、本年度中に施設を終りたいとのことでありますが、現在のところ実施計画の中でその他につきましても判明しておりませんので、判明次第計画に添うよう措置を行ない、又、地元学校ともよく協議いたしまして国体に備えたいと考へております。

二、産業の振興

次に産業の振興について申し上げます。産業の振興は町政発展と町民の経済、生活向上の基盤であります。本町は、鹿兒島市のベッドタウンとして地理的条件に恵まれていて、最近中小企業の進出が目覚しく、下場におきましてはとみに商工業が盛んになり農業は上場に移行しつつあります。然しながら本町経済の中心は何といひましても農業であります。知事も南九州を国の食糧基地にしたと念願しており、農業に対する

関心は高まりつつある状態であり
ます。

今後の農業経営には高度な技術
を必要とするものは勿論でありま
すが、国内、国際競争に打ち勝つ
ためには、農業者自身の研究と積
極的な意欲が必要であります。農
業は先ず農家自身がやる気がなけ
れば向上発展はありせんので、
そのやる気を起させるのが緊急課
題であり、今後町技連会等の組織
を強化し、関係機関との連絡を密
にして、研究指導の徹底と農家の
自主性の養成に努めて行きたいと
考えております。特に上場地帯に
おきましては農家の基盤となる条
件が整備されておりませんので、
今後国、県等の補助事業を積極的
に取り入れ、小規模事業等につ
きましては、県単独事業、町単独事
業等を以て、これ等の事業促進を
図って行きたいと考えております
又、農業従事者の減少と質的低下
は本町のみならず全国的なもの
であります。今後農業を引継いで
行く青少年育成につきましては
農業後継者クラブ員を中心として
育成に努力したいと考えておりま
す。本年度は特に北部山間地域の
休耕地を利用して畜産の振興を積
極的に推進し農家経済の向上を図
って行きたいと考えています。稲
作につきましては今後品種改良に
よる「うまい米」作りを目標とし
産性の向上に努めて行きたいと考
えます。養鶏につきましては、本
年度育すう施設等の関係もあり、
極端な増羽数は望めませんが経営
内容の充実を特に推進し、規模拡
大への基礎固めを進めて行きたい

と考えています。本町先に松原
高樋地区に農業構造改善事業を
実施しましたが、今後は三拾町以北
の圃場整備に意を注ぎたいと思
います。既に川北、上名地区にお
いては調査設計も完了してござい
ます。この圃場整備事業は多額の経
費を必要とし、極めて実施は困難
性が伴いますが、団体営でなく県
営事業に入れてもらうべく今後推
進して行きたいと考えています。

特に園芸作物につきましては町の
基幹作物として下場地帯に経営規
模の拡大を図り、併せて米作り運
動も昨年に引き続き強力に推進し、
反収の上積みのため稲作改善推進
委員会及び農政審議会ならびに農
業委員会等、各関係機関と協力を
して目的達成に努力したいと思
います。又、土地条件整備のため過
去三ヶ年に亘り北山地区に農地保全
事業を実施していただき、農道排
水路の整備がなされて参りました
が、本年度から引継ぎ三ヶ年計画
で従来実施済の西側にこの事業を
推進いたす計画であります。これ
と併行しまして昨年度より着工し
ました農道事業につきましても
その完成に努力して参りたいと考
えています。又、畑作地帯の多い
上場地区には従来甘しよ等を奨励
して参りましたが、価格が不安定
であり、今後は養蚕、畜産を中心
とした作物に切り替えるべく推進
したいと考えています。

を期して行きたいと考えています
又、今後の拡範圃場林につきま
しては、町有、民有を問わず森林
公園造林に依頼して、経費負担の
軽減を図って行きたいと考えてい
ます。

次に商工業について申しあげま
すと、本町商工業のほとんどがそ
の規模が小さくその資金も潤沢で
なく経営も楽であるといえませ
ん。このことは業者自身の創意工
夫は勿論のことでありますが、町
としましては観光振興による外来
客の誘致、住宅政策による人口増
を図り以て購買力を増すととも
に商工会と協力して商店設備の改善
経営の合理化等の指導を推進し
て行きたいと考えています。観光面につ
きましては、余りみりよくある施
設はありません。ただ一ヶ所重富
の海水浴場があります。毎年度の
浴客が多くそのため現在の施設
が不足の傾向にありますので、本
年度シャワー施設その他の整備を
図り利用客の便に供したい計画で
あります。なお、海水浴場防潮堤
につきましても昨年度より国の経
費を以て建設してもらっておりま
すが、本年度も昨年に引継ぎ施工
される見込みであります。又、古
来からの史跡もたくさんあります
ので、今後はこの埋れた史跡も生
かして行き、本町の観光に寄与し
たいと考えています。

の打開策として車えびの放流、海
苔、若芽の養殖等に漁業育成と併
行して指導していききたいと思
っております。

次に身障者及び精薄者の福祉対
策につきましても地域社会の理解
を更に深め、暖かい手を差し伸べ
るような対策を講ずるため関係機
関、団体とも協議して行く考えで
あります。

三、福祉の向上

次に保健衛生について申しあげ
ます。先ず環境衛生を徹底させ、
予防接種の万全を期し、又、食品
衛生等の講座を開き、伝染病発生
の防止に努めていく考えでありま
す。これがため保健所、医師会等
密接な連携を保ち、更に衛生協会
と協力して明るい町の実現に努
めたいと考えております。

し尿処理につきましては更に意
を注いで参り、残された問題の鹿
芥処理場、火葬場建設につきま
しては、し尿処理場事務組合を中
心に昨年より検討され、場所及び計
画等につきましても略成案を得て
おりますが、当初において予算の
計上までいきませんでした。が、本
年度より二ヶ年計画で実施する計
画であります。

結核予防は、町民の意識高揚に
より立派な成果を収めて参りまし
たが、近年成人病の発生が上昇し
つつありますので、これが対策に
は県がん検診車を積極的に導入
して参りたいと考えています。又
献血、預血も町民に良く認識し
てもらい今後町民に万一の場合同
時に供するよう心がけたいと思
っています。国保事業におきま
しては現在家族全員七割給付を
実施し町民の医療負担軽減に努
めていますが、ご承知のとおり受診率の増
大し、医療費の増高により町負担が
増大し、経営が苦しくなり、毎年
増税の止むなきに至っております
が、これが運営に努力を傾注し、
町民の医療対策に支障がないよ
うにして行きたいと考えてござい
ます。又、本町には眼科医がおりま
せんので今年こそ誘致にも努力し、実

現させたいものと考えています。

次に建設関係につきましては、本年度より重富才一工区の都市計画事業を実施することに計画いたしてありますが、この事業は本年度から四七年まで行なうものであります。又、九州縦貫高速自動車道につきましても近く路線も決定する予定でありますので都市計画事業と併行して、これが完成に努力して参りたいと考えております。

この九州縦貫自動車高速道建設に伴ないまして、用地ならびに今後誘致してくる工場等の敷地に充てるため、土地の先行取得が必要になって参りますので、これが対策として今後土地の開発公社設立を検討し、実現したいと考えています。この都市計画及び高速道完成の晩には交通の緩和と街路等の整備がなされ地域住民の福祉向上に寄与するものと考えます。

失業対策事業につきましては、年毎に住民の好評を得ておりますが、近年就労者の減少と老令化に伴い年々枠は減じて参っております。本年度は延二三、五〇〇人の就労者をもちまして道路整備事業保健衛生整備事業を実施し、道路の舗装改良、補修、塵芥の処理道路公園の清掃等を行ない、町民の福祉向上に役立てる計画であります。

一般土木といたしましては、昨年に引継ぎ道路の新設、改良、維持補修に意を注ぎたいと考えております。又、県道舗装につきましても年々伸びては参っておりますが、町負担の許す限り本年度も県に陳情いたし、実施を促進して参

り、町民の利便を図っていききたいと考えております。

上水道につきましても昨年に引き続き計画を実施いたしましてその完成に意を注ぎ、給水の万全を期し、地域全般に亘り加入促進方を啓蒙して参り、企業体本来の姿に一日でも早く成長するよう努力いたしまして地域住民の文化向上を図りたいと考えております。

次に消防行政につきましては、議会を始め町民各位のご協力によりまして消防施設の整備充実がなされておりますが、合併当初購入しましたポンプ車が機能低下しましたのでこれを買替え、現在人家の増えつつあります松原地区にポンプ車を備え、災害の万全を期し地域住民の安全に寄与したいと考えております。

地籍調査につきましては、昭和三十一年着手以来昨年まで九〇％を完成いたしました。残地区を本年度より来年度に亘り全部を終了する予定であります。認証請求事務もこれに併行して処理することに努力して参りまして、順調に進捗いたし、既に終了しました地区におきましては各方面に利用されておき、この完成の晩にはその効果は期待され、全町民の福祉に寄与するものと確信いたします。以上のような考え方に立ち、施策を進めたい所存であります。

次に昭和四四年度予算編成方針とその内容につきましても説明申しあげます。本年度国家予算の大綱は決っておりますが、現在審議中であり、

確立されていない関係もあり、内容につきましては景気抑制と緊縮財政の建前から総合予算主義の採用に伴いまして、国、県支出金や起債枠等の範囲が判明いたしませんでした。才出におきましては不急新規事業ならびに消費的経費は極力これを押え、限られた財源を効率的に使うよう努め、私の意図する施策に重点的に予算を計上いたしました。才入におきましては既に決定された基準のものにつきましては、その基準に従い未決定のものにつきましては現行制度を基礎にいたしまして計上し、健全財政の確立を図ることに意を注ぎました。

才出予算の主なるものについてご説明申しあげます。先ず教育費について申しあげます。統合小学校の通学距離四km以上の北山地区児童に對しまして通学費の補助及び木津志地区の児童に對しましては、スクールバスの運行を行ない、これの経費として通学費補助四三〇、八九〇円スクールバス購入費二、八五〇、〇〇〇円を計上し、通学輸送に對し万全を期したいと思っております。この統合校施設工事といたしましては屋体四三二㎡の継続工事費として一三、三六一、〇〇〇円を計上いたしました。

次に重富小学校危険校舎解消に努め、六五〇、三㎡の鉄筋校舎の新築工事費として二〇、四八四、〇〇〇円を計上いたしました。その他育英資金現行一般一、三〇〇、〇〇〇円に、一般二八名自営者五名計三三名分として六二

四、〇〇〇円、小中学校維持管理費等所要の経費を計上し、教育費として総額九七、二一五、〇〇〇円を計上いたしました。

次に産業の振興部門といたしまして、先ず農林水産業費について申しあげます。農業近代化資金利子補給四七五、一三三、〇二〇円、稲作改善推進費三五、〇〇〇円、家畜導入資金貸付金四、五〇〇、〇〇〇円、林地肥培事業五〇、〇〇〇円、分収造林事業調査三〇〇、〇〇〇円、造林事業費三、九八二、〇〇〇円が主なるもので総額四六、〇三三、〇〇〇円を計上いたしました。商工費とい

たしましては総額二、六六八、〇〇〇円を計上いたしました。その主なるものは商工会への育成補助五〇〇、〇〇〇円、重富海水浴場施設事業一、〇〇〇、〇〇〇円であります。

次に福祉部門として民生費について申しあげます。生活保護の適正実施、低所得階層の自力更生及び老人福祉を推進するため老人家庭奉仕員の増設、老人クラブ補助児童福祉に要する経費、国民年金事務費等の経費として総務費四、九七三、〇〇〇円、老人福祉費一、二五三、〇〇〇円、児童福祉費一九、八三九、〇〇〇円、災害救助費七、〇〇〇円、国民年金事務費二、七三四、〇〇〇円、総額四八、八〇六、〇〇〇円を計上いたしました。保健衛生費について申しあげます。予防注射の励行、環境衛生の改善、向上を図るとともに、し尿処理ならびに塵芥処理

事業を以て町を明るく清潔にして伝染病の発生を防止して町民の保健衛生に要する予防費四、六八七、〇〇〇円、環境衛生費三三四、〇〇〇円、塵芥処理費一、四二九、〇〇〇円、し尿処理費三、四六〇、〇〇〇円等総額一二、二二二、〇〇〇円を計上しました。

次に失対事業について申しあげますと、本年度は就労者一二二名で延二三、五〇〇人の就労を以て事業を行なうことにし、道路改良三線（木津志、増田、豊留）舗装一〇、〇〇〇m、区画整理事業を計上し、総額三九、七〇一、〇〇〇円を計上いたしました。都市計画事業といたしましては重富才一土地区画整理事業の許可により本年度より四ヶ年計画で施行面積二七、一ヘクタール、直接事業費一九、八六八、〇〇〇円、他事業（失対事業）四六、八〇〇、〇〇〇円で本年度は一、八〇三、〇〇〇円を計上し、都市計画街路補

元線（巾員二二m）区画街路八路線一、二〇〇mとこれに附随する側溝一、〇〇〇mの道路築造を施行するものであります。

この外公園事業として菅原東西児童公園の施設設備に六七五、〇〇〇円、下水路事業として思川土改用水路と昨年買収した溝田との間に新設する経費二五〇、〇〇〇円を計上しました。

一般土木といたしましては、本年度特に南地区の幹線道路（松原線、上水流線）の改良に重点を置き、中、北地区においては局部改良と継続路線の完了を期すべく工事費として五、〇〇〇、〇〇〇円

原材料として一、六〇〇、〇〇〇円を計上いたしました。橋梁については現在残っているのは中、小橋の木橋であり、今後の維持費として一、一七〇、〇〇〇円、総額三〇、〇九五、〇〇〇円を計上いたしました。

災害復旧費は債務負担に基づく中津野橋の上部工及び四一災、四二災の残災害の経費として一〇、四〇七、〇〇〇円を計上いたしました。

次に消防費について申しあげますと、脇元分団ポンプ車、松原分団ポンプ車として三、六〇〇、〇〇〇円、警備台一基一五〇、〇〇〇円、車庫一棟三三〇、〇〇〇円、ホース二〇八、〇〇〇円等となっており、総額八、七二二、〇〇〇円を計上いたしました。

総務費について申しあげますとその大部分が人件費、物件費、財産管理費、内部管理費であります又、選挙費、監査委員会費等所要の経費として総額七三、一二八、〇〇〇円を計上いたしました。

議会費については人件費と物件費が大部分であり、その所要経費として一〇、七三三、〇〇〇円を計上いたしました。

公債費につきましては、償還元金二二、一〇八、〇〇〇円、利子一一、三八七、〇〇〇円、総額三三、五〇〇、〇〇〇円計上いたしました。

諸支出金としましては、国有林払下げ償還金一、六五九、〇〇〇円、水道会計支出金六、〇〇〇、〇〇〇円、総額七、六五九、〇〇〇円を計上いたしました。

以上が才出面の概要であります。才出総額四一、三六七、〇〇〇円に達しております。

次に才出予算に対応する才入予算について、その概要を申しあげます。

町税について申しあげますと、経済の伸びに伴い、町民所得も伸びて参りましたが、地方税法の改正により住民税の減税等からいたしまして実質的には差程伸びが見込まれない現状であります。

町民税としまして二〇、四一四、〇〇〇円、昨年に比し一八％の増になっておりますが、これは税法の改正で各控除額が引上げられました。給与所得及び営業所得等の伸びと団地や一般転入等による自然増を見たものであります。

固定資産税は三四、〇五三、〇〇〇円を見込みましたが、これは昨年に比し二％の増であります。これは一部負担調整率の引上げと新築、増改築家屋の増及び地目の変更による課税標準の上積みによるものであります。

軽自動車税については三、二一九、〇〇〇円を見込みましたが、これは年々単車を軽自動車に切り替えるの増を見たものです。

たばこ消費税につきましては一五、六〇〇、〇〇〇円を見込みました。

電気ガス税につきましては八、四一〇、〇〇〇円を見込み、総額八三、五〇四、〇〇〇円見込みでしたが、これは昨年度三、四半期から始まったものであり、本年度はその増分を計上いたしました。次に地方交付税につきましては

一八〇、五〇〇、〇〇〇円を見込みましたがこれは昨年度の実績を勘案して計上いたしました。交通安全対策特別交付金につきましても、昨年度の実績を勘案して五〇〇、〇〇〇円計上いたしました。

使用料及び手数料は、公営住宅使用料、諸証明手数料、幼稚園保育料等で七、一一〇、〇〇〇円を見込み計上いたしました。昨年に比し減額になっておりますのは、公営住宅処分により減少したものです。

国、県支出金は、現行で見込まれる確実なもの六七、八一六、〇〇〇円を計上いたしました。財産収入としまして、公営住宅処分建物（並木、大山二、二八一、〇〇〇円、土地（並木、三拾町、建昌）二、九六三、〇〇〇円、立木処分直営林八、〇〇〇、〇〇〇円、部分林三、〇〇〇、〇〇〇円、総額一五、八〇七、〇〇〇円を見込み計上いたしました。寄附金としましては消防車購入寄附二〇〇、〇〇〇円、海水浴場施設寄附二〇〇、〇〇〇円、その他七〇、〇〇〇円、総額四七〇、〇〇〇円を見込み計上いたしました。諸収入としましては、国民年金印紙代一九、四二六、〇〇〇円、予防接種一、七六〇、〇〇〇円、年金売却手数料料外とっており総額二五、六九四、〇〇〇円を見込み計上いたしました。

町債としましては、文教施設一、一〇〇、〇〇〇円、都市計画五、〇〇〇、〇〇〇円、公有林三、〇〇〇、〇〇〇円、消防二〇〇、〇〇〇円、災害復旧二、五〇〇、〇〇〇円、減税補償六〇〇、〇〇〇円、諸収入一、一〇四、〇〇〇円、総額二四、二〇〇、〇〇〇円を見込み計上いたしました。

歳入の合計は四一、三六七、〇〇〇円となっております。次に国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。先ず事業勘定につきましては、昭和四一年一月より被保険者全員の七割給付を実施し、医療内容の改善に努力して参りましたが、反面受診率及び一件当りの医療費が伸びて保険財政は益々苦しくなっております。

昭和四三年度におきまして一世帯当り一、七八六円、一人当り六五八円の増税をいたしました。四年度におきましては、医療費の伸びは四三年度の一件当り三、〇八〇円に較べ三、六四二円となり医療費支払見込み総額四三年度九八、七二〇、〇〇〇円に対し、四年度度は、一一七、八七六、〇〇〇円と推定され、その受診率が三八四、六％で六％の上昇が見込まれます。このような事情で保険税の増税を余儀なくすることになりました。先ず歳出といたしまして、総務費六、九二九、〇〇〇円、保険給付費一一八、七七〇、〇〇〇円、保健施設費二、三四二、〇〇〇円、公債費九〇、〇〇〇円、諸支出金三六〇、〇〇〇円、予備費五五二、〇〇〇円、総額一一二九、〇四二、〇〇〇円を計上いたしました。

この歳出に対応する歳入としまして、保険税三八、〇二九、〇〇〇円、使用料及び手数料二二、〇〇〇、〇〇〇円、国庫支出金八六、七八六、〇〇〇円、財産収入一〇〇、〇〇〇、〇〇〇円、繰越金三、〇〇〇、〇〇〇円、諸収入一、一〇四、〇〇〇円、総額二四、二〇〇、〇〇〇円を計上いたしました。又従来課長の給料その他をこの会計で支弁して参りましたが、本年度より一般会計で支弁するように措置して参り、保険財政の一助にしたいと考えております。今後環境衛生等の整備充実を図り、予防衛生思想の普及に力を注ぎ、町民の健康を図り以て国保事業の運営に万全の努力を傾注したいと考えております。次に施設勘定について申しあげます。診療施設にありましては、前年同様に診療収入の伸び悩みとともに、人件費の増高によりまして、益々その経営は困難を極めつつあり毎年一〇〇万円程度の赤字が続いている現状でありますので、本年度におきましては赤字の中を縮めるために努力したいと思っております。先ず歳出といたしまして、総務費八、二六七、〇〇〇円、医療費四、四八四、〇〇〇円、施設整備費九〇、〇〇〇円、公債費三六五、〇〇〇円、予備費二〇、〇〇〇円、総額一三、二二七、〇〇〇円を計上いたしました。この歳出に対応する歳入としまして、診療収入一一、五五九、〇〇〇円、使用料及び手数料三〇、〇〇〇円、県支出金六一一、〇〇〇円、繰入金三四七、〇〇〇円、諸収入一三〇、〇〇〇円、総額一三、二二七、〇〇〇円を見込み計上いたしました。

次に水道事業特別会計について申しあげます。水道事業は昨年度より地方公営企業法に則り、簡易水道を含めてその適用を受けて

〇〇〇円、総額二二九、〇四二、〇〇〇円を計上いたしました。又従来課長の給料その他をこの会計で支弁して参りましたが、本年度より一般会計で支弁するように措置して参り、保険財政の一助にしたいと考えております。今後環境衛生等の整備充実を図り、予防衛生思想の普及に力を注ぎ、町民の健康を図り以て国保事業の運営に万全の努力を傾注したいと考えております。次に施設勘定について申しあげます。診療施設にありましては、前年同様に診療収入の伸び悩みとともに、人件費の増高によりまして、益々その経営は困難を極めつつあり毎年一〇〇万円程度の赤字が続いている現状でありますので、本年度におきましては赤字の中を縮めるために努力したいと思っております。先ず歳出といたしまして、総務費八、二六七、〇〇〇円、医療費四、四八四、〇〇〇円、施設整備費九〇、〇〇〇円、公債費三六五、〇〇〇円、予備費二〇、〇〇〇円、総額一三、二二七、〇〇〇円を計上いたしました。この歳出に対応する歳入としまして、診療収入一一、五五九、〇〇〇円、使用料及び手数料三〇、〇〇〇円、県支出金六一一、〇〇〇円、繰入金三四七、〇〇〇円、諸収入一三〇、〇〇〇円、総額一三、二二七、〇〇〇円を見込み計上いたしました。

参りました。事業のありかたが従来より大巾に変更され企業会計としてその事務或いは料金徴収方法等の運用面につきまして、不馴れな点もあり地域住民に迷惑をおかけしましたが、今後は各家庭生活用水を豊富に供給することに努力したいと思ひます。本年度は給水戸数も更に増加し、使用水量も増加する見込みでありますので、計画に従い建設改良工事を本年度で完了し、給配水施設を充実する覚悟であります。予算的には、給水戸数二、八一〇戸、年間給水量四五一、四〇〇m³、一日平均一、二三七m³と見込んでおります。主な建設事業は、送水管延長二、七〇七m、配水管触田地区一、七八一m、春花地区二、二二〇m、三叉地区四、六四一mで総事業費六一、〇〇〇、〇〇〇円を計上いたしました。収益的収入では、事業収益二四、八五四、〇〇〇円で内訳は上水道事業収益二四、二三八、〇〇〇円、白浜簡易水道二二、〇〇〇円、成美簡易水道四九四、〇〇〇円であり、支出におきましては、上水道事業費用三三、五九六、〇〇〇円、白浜簡易水道費用二二、〇〇〇円、成美簡易水道費用五七七、〇〇〇円、期間外支出一八六、〇〇〇円であり、資本的収入は六四、〇六〇、〇〇〇円で内訳は企業債五八、〇〇〇円、出資金一四四、〇〇〇円、長期借入金五、八五六、〇〇〇円、固定資産売却代六〇、〇〇〇円であり、支出におきましては、事業資本的支出六四、九六〇、〇〇〇円、白浜二八、〇〇〇円、成美八〇、〇〇〇円で事業資本的支出の内訳は建設改良費六一、七六二、〇〇〇円、企業債償還金二二、九八、〇〇〇円、白浜は企業債償還分、成美は建設改良費一三、〇〇〇円、企業債償還金六七、〇〇〇円となり、一般会計より当初において不足を補う予定で六、〇〇〇、〇〇〇円を支出することにして、昭和四十四年四月一日現在の水道事業予定開始貸借対照表合計は、資産合計一九四、七九八、二二一円、負債合計八、四三二、〇〇〇円、資本合計一八六、三六六、二二一円、負債資本合計一九四、七九八、二二一円であり、今後は拡張事業の早期完成を図り、給水の普及と企業運営に留意し、完全なる企業体により早く成長して、町民の健康と町政発展に寄与したいと考えています以上昭和四十四年度一般会計及び特別会計につきまして説明申しあげましたが、一般会計四一、三六七、〇〇〇円、国民健康保険事業勘定、二二九、〇四二、〇〇〇円、国民健康保険施設勘定一三、二二七、〇〇〇円、水道事業会計九九、五四七、〇〇〇円、総額六五三、一八三、〇〇〇円の額に達しております。この予算の執行に当りましては、法令及び条例、規則を遵守して、適正に効率的に執行しまして、住民福祉と町政の発展に役立てたい覚悟であります。何卒慎重にご審議の上ご協賛を賜りますようお願いいたします。以上をもちまして昭和四十四年度の施政方針と予算説明を終ります。

肥育素牛並びに種豚

購入資金貸付けについて
貸付金四五〇万円に大巾に増額
畜産の振興により、自立経営農家育成と、多頭飼育による産地づくりの促進をはかるため、左記により購入資金の貸付けを行ないます。

口種豚については、農業を専業とし、自立経営を目ざす農家で、更に規模拡大の計画がある者
一、貸付条件
貸付期間 二年以内
利息 無利子
三、貸付限度
肥育素牛 一頭 七万円以内
種豚 一頭 一万五千円以内
四、貸付金
四五〇万円
内訳 肥育素牛 四二〇万円
種豚 三〇万円
五、その他
申し込み書は役場経済課に備えてあります。くわしいことは経済課畜産係に問い合せてください。

昭和44年度より「都市計画税」を賦課徴収することになりました

賦課徴収することになりました

都市計画税は、都市計画法に基づいて行なう都市計画事業や、土地地区画整理法に基づいて行なう土地地区画整理事業に要する、費用に充てるため都市計画区域内に所在する土地及び、家屋の評価額を課税標準として、その所有者に課税されます。

課税標準となる評価額は、固定資産税の評価額とほぼ同じであり税率は百分の〇・一、税額は固定資産税額の約四分の一で、納税通知書も固定資産税と一しよになす。

計画課長

「篤志寄附」

一金五千円也
病氣金快につき見舞がえしとして社協へ寄附
森 永倉写真館 永倉純春殿
一金壹千九百九拾八円也
結婚記念に(一円貯金を社協へ寄附)
農業後継者
春花上 京田 次広殿

香典返し

三月二日(三月三十一日まで)
一金参千円也 故三月田スエマツ様87
住吉 三月田末治殿
一金壹万円也 故新 静麿様 61
西之妻 新 ナミエ殿
一金五千円也 故新 泰麿様 31
西之妻 新 ナミエ殿
一金参千円也 故精木利子様 24
建昌 精木利兵衛殿
一金四千円也 故永岩ハル様 81
池平 永岩 清男殿
一金参千円也 故南園軍左衛門様74
木津志中南園ケサギク殿
一金式千円也 故新屋敷熊吉様77
永瀬 新屋敷田鶴子殿
一金五千円也 故東条盛光様 83
岩崎 東条 イク殿
一金参千円也 故栗下武二様 72
堂園 栗下 勝好殿
一金参千円也 故向江嘉之助様84
板ノ口 向江 繁殿
一金参千円也 故柳川ソテ様 70
梅山 柳川安之丞殿